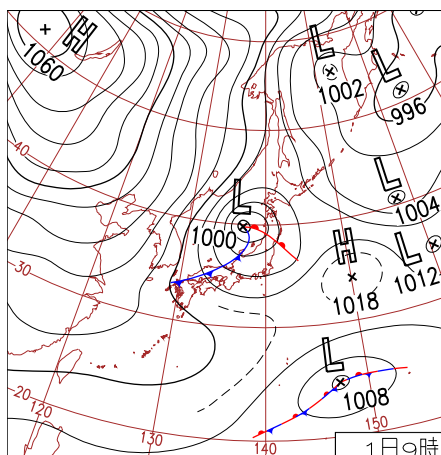


日々の天気図

No. 121

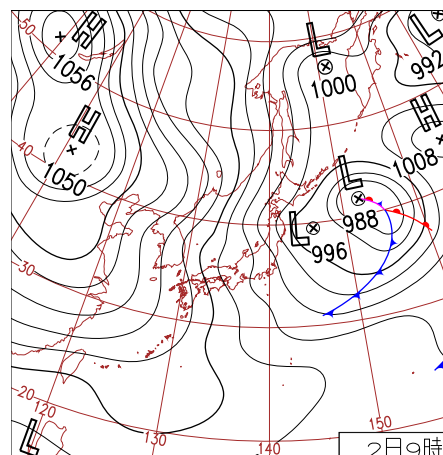
2012年 2月

- ・強い寒気の影響で、東・西日本日本海側で降雪量多く、多数の地点で2月の月最深積雪を更新。
- ・17日、網走で流氷接岸初日。平年より15日遅い観測。
- ・29日、関東南海上の低気圧の影響により、関東甲信で大雪。



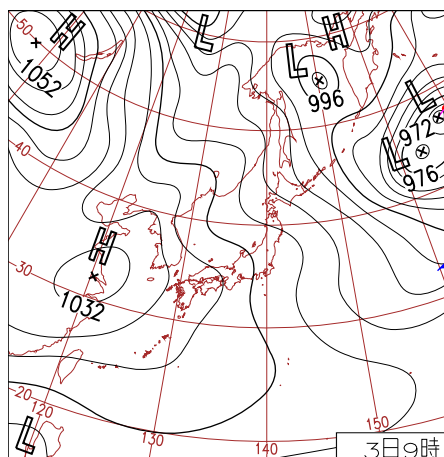
1日(水) 低気圧発達中

日本海で低気圧が発達し雲の渦が気象衛星の画像で明瞭。東北の日本海側で風雪が強まる。山形県酒田市飛島で最大瞬間風速36.8m/s、青森県大間で日降雪量51cmを記録。



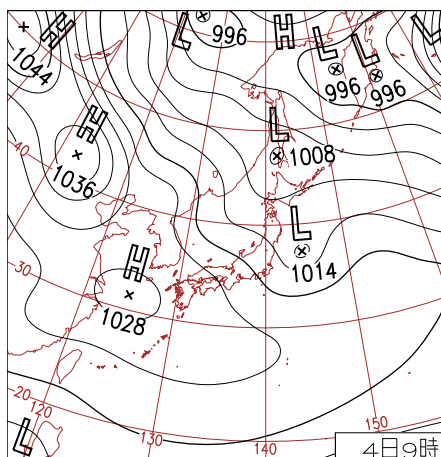
2日(木) 西日本、東海でも大雪

北陸から近畿・中国の日本海側では3時間で15cm前後の降雪。西日本太平洋側や東海でも積雪。交通機関に影響。名古屋市で積雪の深さ15cm。静岡で平年より21日遅い初雪。



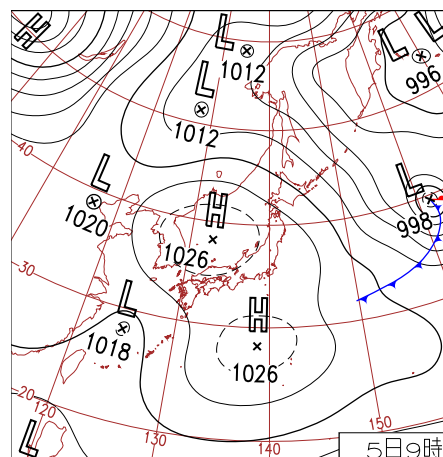
3日(金) 全国的に強い冷え込み

冬型の気圧配置は西から緩む。大雪の峠は越えたが、冷え込みが強く、北海道枝幸町歌登で-32.6℃。全国の874地点で冬日、38地点で最低気温の観測史上1位を更新。



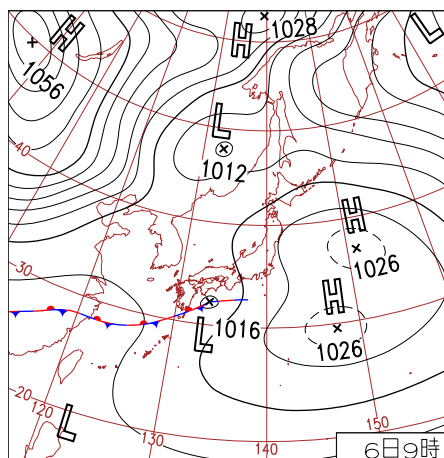
4日(土) 「立春」も冷え込み強く

太平洋側を中心に晴れて朝の最低気温は平年を10℃以上下回った所があるなど強い冷え込み。最高気温は前日より高いが関東など一部を除き平年より低い。静岡市でウメ開花。



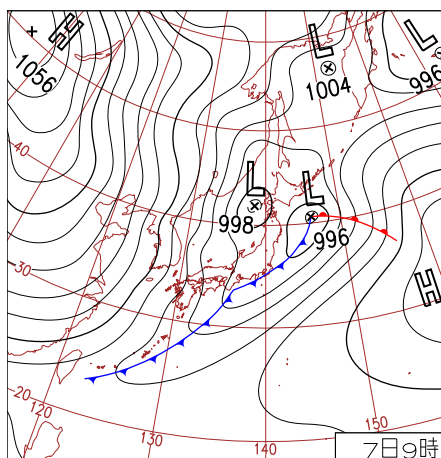
5日(日) 寒さと和らぐ

移動性高気圧に覆われて風は弱く、日本海側は雪が止み晴れ間も広がる。最低・最高気温ともほぼ平年並。前線や気圧の谷の影響で西日本は雲が多く、沖縄～九州は午後雨。



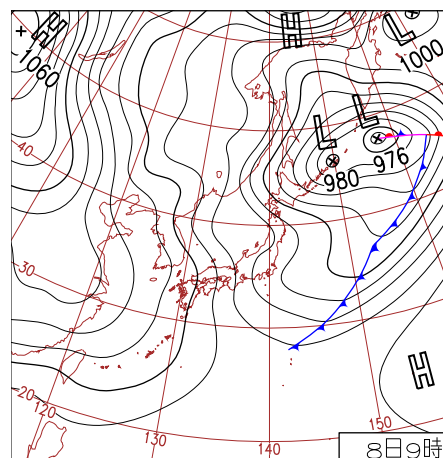
6日(月) 北海道で気温上昇

前線や気圧の谷の影響で、北日本を除き曇りや雨。最高気温は東海と関東で平年より低い他は平年並か平年より高く、北海道では3月中旬並の所が多い。那覇市ヒカンザクラ満開。



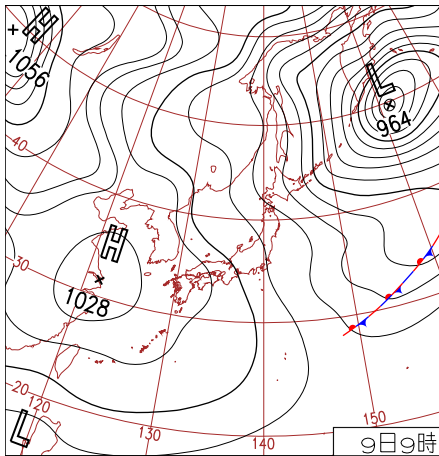
7日(火) 次第に冬型へ

低気圧や前線の影響で北海道の一部で雪の他は概ね雨、太平洋沿岸で強風。最低気温は全国的に高く3月～4月並。佐賀市・松江市等でウメ開花。徳島県阿南市蒲生田で58.5mm/1h。



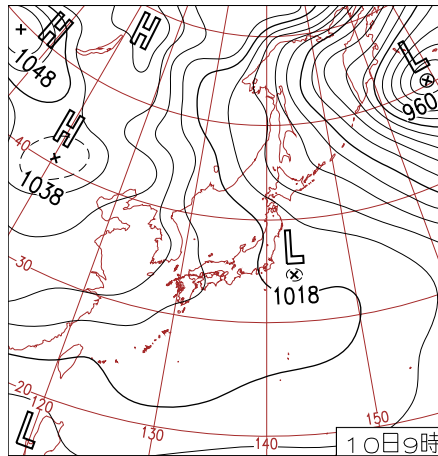
8日(水) 日本海側は再び大雪

寒気が流入して強い冬型に。西～北日本の日本海側は昨日の雨から雪に変わって降り続く。山形県大蔵村肘折で日降雪量74cm。各地で雪の事故相次ぐ。新潟県で震度5強。



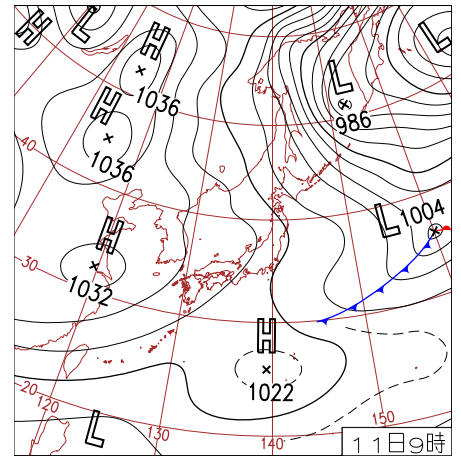
9日(木) 新潟県は大雪続く

強い寒気の流入続き新潟県は日降雪量が魚沼市入広瀬54cm、津南53cmなど連日の大雪。太平洋側は晴れたが、気温は全国的に低く最高気温は平年より5℃以上低い所多い。



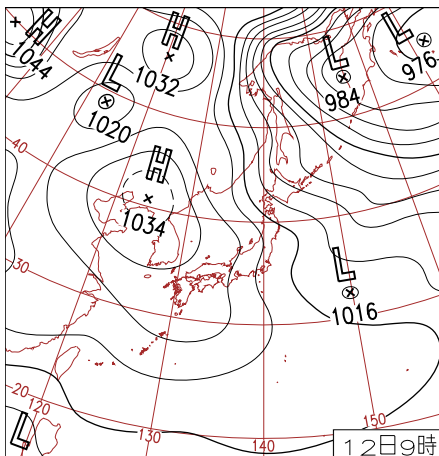
10日(金) 各地で雪や雨

西日本は気圧の谷や寒気により雨や曇り。冬型の気圧配置が続き、日本海側の雪に加え東北と北海道では太平洋側も雪。最高気温は平年並の関東を除き低め。東京でウメ開花。



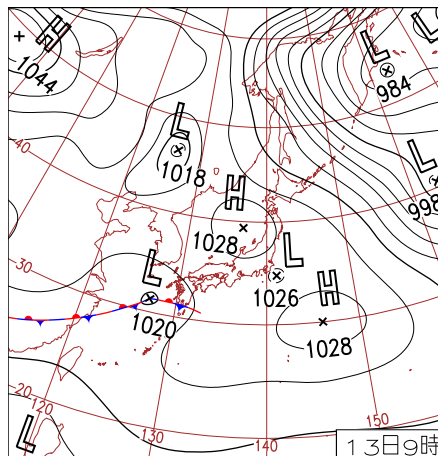
11日(土) 弱いながら冬型

大陸の高気圧が本州を被い、太平洋側で晴れ、山陰～北海道の日本海側では時々雪。気温は全国的に平年を下回り、東北から北海道では所々で最高気温が5℃以上も低い。



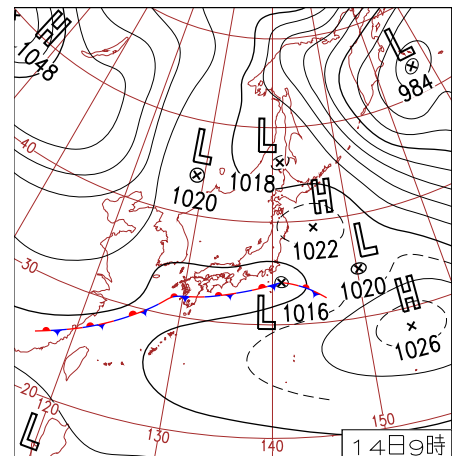
12日(日) 北日本では冬型持続

北海道の上空約5000mでは-42℃以下の寒気が流入し、東北北部～北海道で真冬日。天気は北陸～北日本日本海側で雪。太平洋側では概ね晴れ。大分市でヒバリ初鳴。



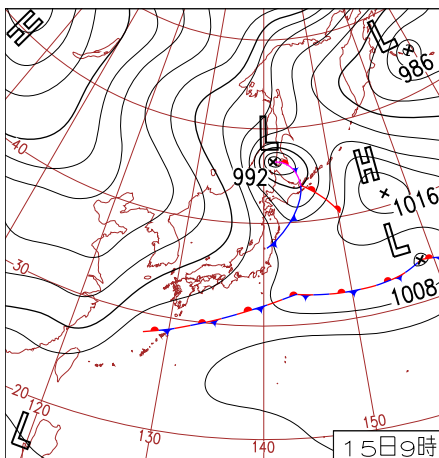
13日(月) 西から雨

前線と低気圧の影響で九州は未明から雨となり、日中は西日本、夜は東日本まで雨や雪。北日本は晴れや曇り。暖気が流れ込んだ沖縄～鹿児島県の最高気温は4月上～中旬並。



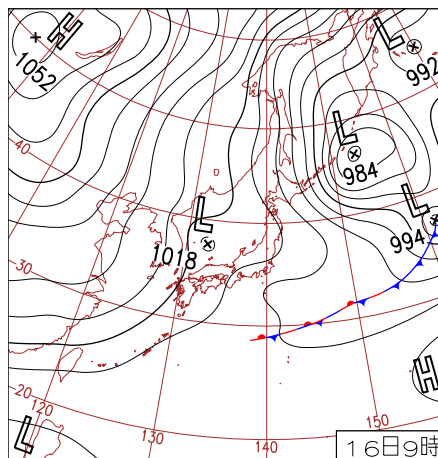
14日(火) 南岸に前線停滞

九州～東日本南岸に前線停滞。中国～関東は前線の影響で雨となり最高気温は平年より低い。沖縄は暖気流入し気温上昇、那覇市樋川で今年初の夏日。宮崎市、福岡市等ウメ開花。



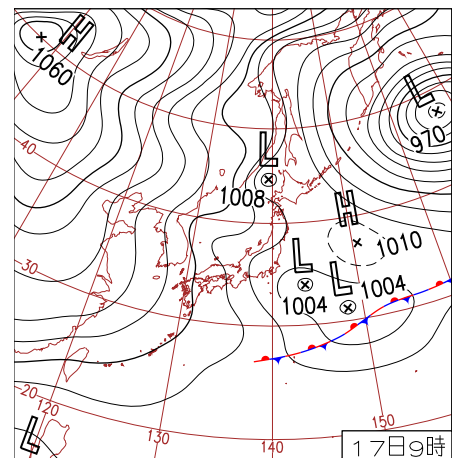
15日(水) 九州で副震動

前線の影響で太平洋岸は雨。低気圧の通過により北海道は暴風雪となった所も。最低気温は全国的に3～4月並と高め。九州西岸で副震動発生。長崎市・山口県下関市でウメ開花。



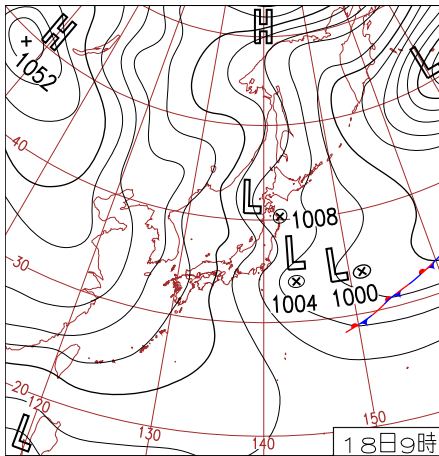
16日(木) 北陸で久々の晴れ

北海道の日本海側は冬型の気圧配置で雪。北陸～東北南部で久々に日中晴れ。伊豆諸島付近に発生した低気圧の影響で関東南部は雪や雨。大分市ツバキ開花、岡山市ヒバリ初鳴。



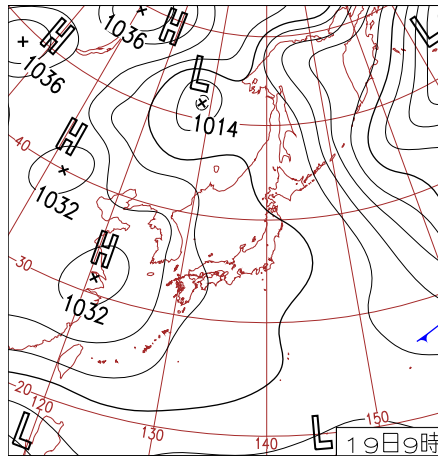
17日(金) 北海道で流氷接岸

西～北日本の日本海側では雪で、山陰～北陸では降雪強まる。西日本の太平洋側でも雪。松山市でタンポポ開花。北海道網走市で平年より15日遅い流氷接岸初日。



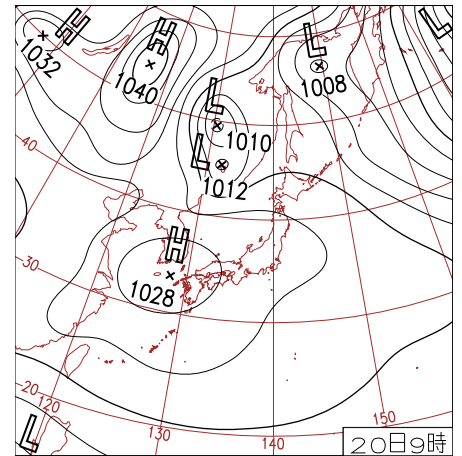
18日(土) 非常に強い寒気流入

秋田上空約5000mで観測史上最も低い-46.7℃。強い寒気が流入し、山陰～北陸や西日本太平洋側の雪が続く。西日本は最高気温が平年より7～9℃低い。401地点で真冬日。



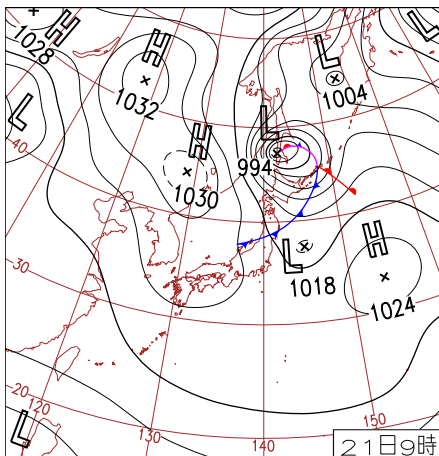
19日(日) 寒い一日の「雨水」

放射冷却により朝は全国的に強い冷え込み。日中も寒気が残り829地点で冬日、271地点で真冬日。長野県菅平で-29.2℃など、本州の12地点で日最低気温の記録を更新。



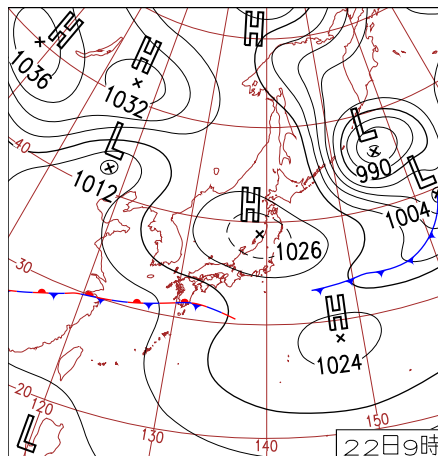
20日(月) 朝の寒さ続く

移動性高気圧が日本列島を覆い、沖縄を除き全国的に晴天。冷え込みは今朝も続き、冬日は810地点。西日本は日中も気温は平年以下、東日本は平年並まで上昇。



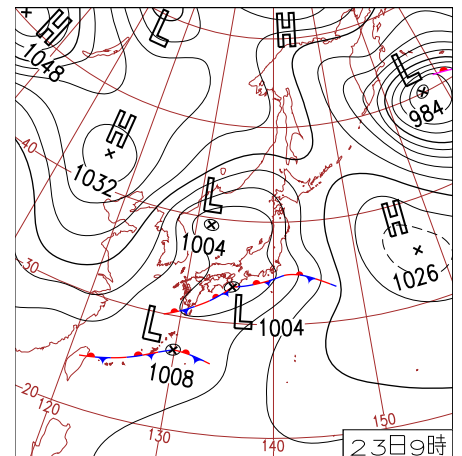
21日(火) 北海道北部大荒れ

発達中の低気圧がオホーツク海に進み、北海道北部の日本海側を中心に暴風雪や大しけとなり、稚内市宗谷岬で日最大瞬間風速29.1m/sを観測。本州太平洋側では概ね晴れ。



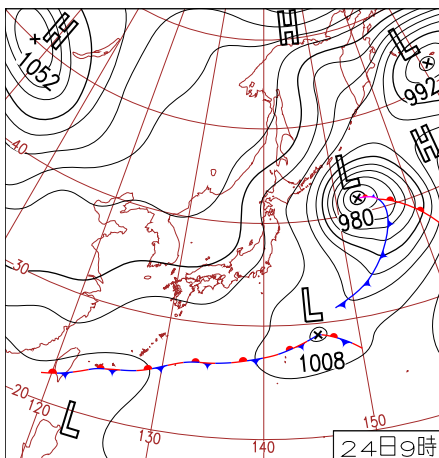
22日(水) 日本海側も晴れ

最低気温は、北日本と南西諸島はこの時期の寒さとなったが、西～東日本では3～4月中旬並で、鹿児島市東群元町11.1℃。名古屋市でウメ開花。津市でヒバリ初鳴。



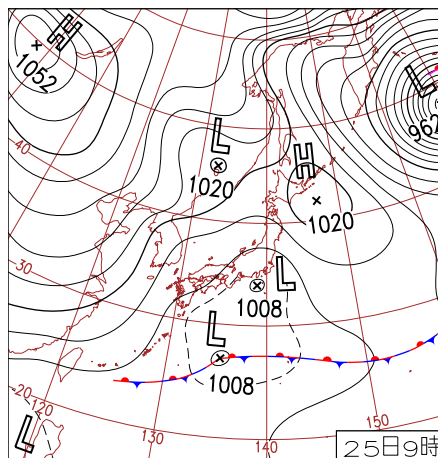
23日(木) 全国で雨や雪

発達中の低気圧の影響で沖縄～本州は雨、北海道は雪。暖気が流入し午後晴れた西日本は最高気温が平年を3～9℃上回り、宮崎県串間で24.3℃。北海道えりも岬で最大風速30.8m/s。



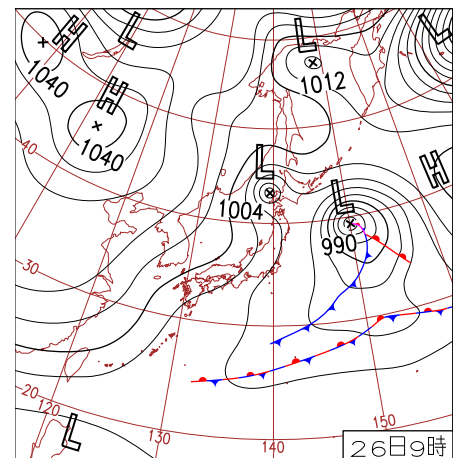
24日(金) 西・東日本暖かい1日

前日の暖気で朝の気温は全国的に高く、最低気温は平年を10℃以上上回る所も。西～東日本は日中晴れて最高気温も3月下旬～4月上旬並となるが北海道は強い寒気入り気温急降下。



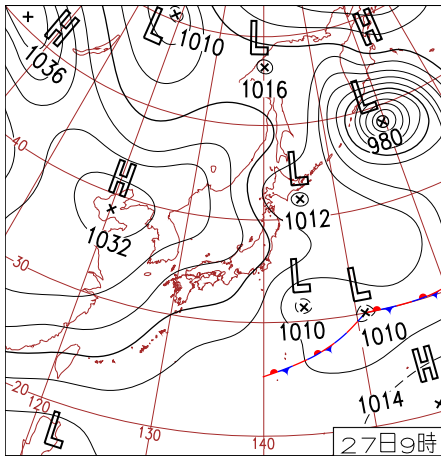
25日(土) 歌登で-32.5℃

東北以南は雨や雪で、前日の暖気が残る。最低気温は4月並と高かったが日中は気温は上がらず、最高気温は平年並か平年以下。北海道は冷え込み、枝幸町歌登で最低気温-32.5℃。



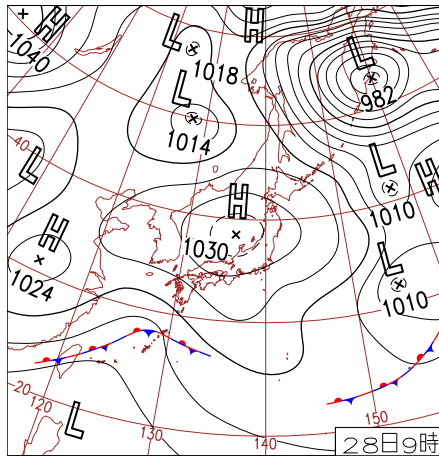
26日(日) 曇りの東京マラソン

冬型の気圧配置の中、北海道を低気圧が通過、北日本と北陸～山陰で雪または雨、南西諸島は気圧の谷の影響で雨。マラソンの時間帯の東京は曇りで気温6℃前後、湿度50～60%。



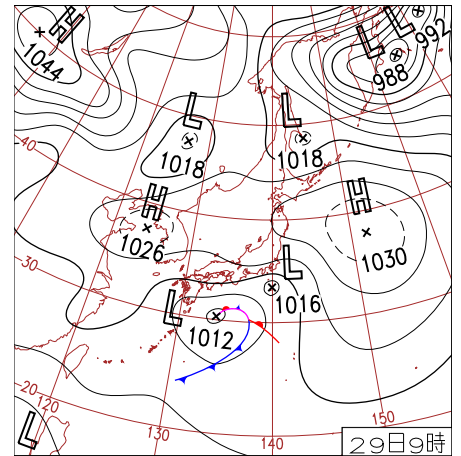
27日(月) 稚内で流水初日

冬型の気圧配置が続き、日本海側では雪や雨。太平洋側では概ね晴れ。南西諸島では曇りや雨。気温は全国的に低く、最高気温は九州を除いて平年より低くなった。



28日(火) 北海道等で冷え込む

大きな移動性高気圧に覆われ、近畿～北海道は概ね晴れて、朝は厳しい冷え込み。北海道枝幸町歌登ではこの冬6度目の-30℃以下。沖縄～九州と四国では前線の影響で雨。



29日(水) 関東甲信大雪

関東南海上を東進する低気圧の影響で関東甲信は大雪となり、日降雪量は山梨県河口湖28cm、前橋17cm、宇都宮16cmなど。関東はほぼ全域で最高気温が平年を5℃以上下回る。